



港区新橋5-15-5
交通ビル4F

国労東日本本部

発行責任者 菊池忠志
編集責任者 樋口孝重

2017年
3月3日
NO. 82

ダイジェスト版

つなげよう

(わざ) (ところ)
技術と魂と

運動を

HP <http://www.e-nru.com/>

第2回「新賃金交渉」3月3日開催!

〔組合〕

我々の要求（1万5千円）に応える体力はJR東日本には十分ある。設備投資も大切だが、人材育成も重要な課題であり、今こそ人件費、賃金を上げるときである！

マンパワーの重要性、優秀な人材確保のためにも労働条件の大切さは一致している。そうした要素も含めて慎重に判断をする。

〔会社〕

< JR東日本会社より現状認識が示される! >

- 第3四半期決算は、営業収益が5期連続の増収で過去最高となった一方、営業利益については4.8%減であり、第2四半期に引続き大幅な減益となった。
- 通期の見通しについても、北陸新幹線の反動減などにより、営業収益はほぼ前年並みの水準を見込まざるを得ない上、新幹線鉄道大規模改修引当金などにより、営業費用は増加と見込んでおり、収益の確保が引続き大きな課題となっている。
- 取り巻く経営環境は、少子高齢化や生産年齢人口の減少、地方経済の活力減退などの社会構造的な要素から大きな影響を受ける。
- 新賃金交渉を行うにあたっては、昨年度よりもさらに不透明感と厳しさを増した経営環境下にあるという基本認識に加え、平成24年度に実施した人事・賃金制度及びこの間3年連続で実施している賃金改善が将来の経営に与える影響等も含めて総合的に判断していく。

収益をあげる為に日夜頑張る
JRグループ社員・家族のためにも

JR東日本は決断を!

春闘 引き続き職場から
を強めよう!